

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	基礎看護援助論Ⅲ	授業科目名	臨床看護総論
授業回数・時間	15回 30時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 前期
単位	1単位		
担当教員	千葉真愛美、福士王菊、佐藤哲子、石山里美		
科目目標	健康障害の状況に応じた看護を実践するために必要な基礎的援助方法を習得する。		
学習内容	1. 患者と家族の心理 2. 経過別看護 3. 主要症状別看護 4. 主な治療を受ける患者の看護 5. ME機器と看護		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	科目ガイダンス	千葉真愛美	
	病期を判断することの意味と方法を理解する。	千葉真愛美	
	患者・家族の心理の基礎的理解を深める。	千葉真愛美	
2	急性期の患者の看護を考える。（講義・事例・GW）	千葉真愛美	
3	慢性期の患者の看護を考える。（講義・事例・GW）	千葉真愛美	
4	リハビリテーション期の患者の看護を考える。（講義・事例・GW）	千葉真愛美	
5	終末期の患者の看護を考える。（講義・事例・GW）	千葉真愛美	
6	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護	千葉真愛美	
7	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護（事例・GW）	千葉真愛美	
8	安楽に関連する症状を示す対象者への看護	千葉真愛美	
9	循環に関連する症状を示す対象者への看護（ショック・浮腫・GW）	千葉真愛美	
10	循環に関連する症状を示す対象者への看護	千葉真愛美	
11	がん化学療法	石山里美	
12	がん化学療法	石山里美	
13	ME機器	福士王菊	
14	排泄障害の看護	佐藤哲子	
15	試験		
教科書	臨床看護総論：基礎看護学4：医学書院		
授業形態	講義および事例を用いてグループワーク、発表を通して学ぶ		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	基礎看護援助論Ⅳ	授業科目名	看護過程
授業回数・時間	15回 30時間（演習を含む）	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	平田 紀子		
科目目標	看護過程展開の基礎を習得する。		
学習内容	1. 看護過程とは 2. 情報収集の方法 3. アセスメント 4. 看護計画の立案 5. 看護計画の評価と修正 6. 記録		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	看護過程とは（看護過程の意義・基盤となる考え方・構成要素）		
2	看護記録の目的・書き方・留意点（PONR）		
3	情報収集（アセスメント）の視点		
4	ゴードンの機能的健康パターン①		
5	ゴードンの機能的健康パターン②		
6	看護問題の明確化（看護診断）		
7	看護計画・実施・評価		
8	事例展開（演習①）アセスメント		
9	事例展開（演習②）アセスメント		
10	事例展開（演習③）全体像・看護問題		
11	事例展開（演習④）望ましい姿・看護目標		
12	事例展開（演習⑤）看護計画・評価・修正		
13	事例展開（演習⑥）自己の健康問題について展開		
14	事例展開（演習⑦）自己の健康問題について展開		
15	事例展開（演習⑧）自己の健康問題について展開		
教科書	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断：ヌーベルヒカリ		
	ヘルスアセスメント臨床能力を高める：南江堂		
	基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②：医学書院		
授業形態	講義 演習		
評価方法	グループワーク参加状況 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	看護研究の基礎	授業科目名	看護研究の基礎
授業回数・時間	15回 30時間	開講年次	2年次 前期
単位	1単位		
担当教員	三上 みどり		
科目目標	看護研究の基礎を理解する。		
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究とは 2. 看護研究における倫理指針 3. 研究計画書と研究の展開 4. 看護研究のまとめと発表 		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	看護研究とは		
2	文献検索		
3	研究計画書		
4	研究手法の進め方1（観察法・面接法）		
5	研究手法の進め方2（実験法）		
6	研究手法の進め方3（量的分析）		
7	研究手法の進め方4（質的分析）		
8	論文作成法		
9	実験		
10	実験		
11	論文の作成		
12	研究発表会について		
13	論文の作成		
14	発表		
15	発表		
教科書	(1) 新体系看護学全書 14 看護管理・看護研究・看護制度メヂカルフレンド社 (2) 南 裕子著看護における研究、日本看護協会出版会、2015年		
授業形態	講義 演習		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	基礎看護援助論Ⅱ	授業科目名	基礎看護援助論Ⅱ (基礎看護技術演習)
授業回数・時間	30時間(自己学習含む)	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	平田 紀子		
科目目標	基礎看護援助論Ⅰで習得した技術の統合と応用によって、個別性を考慮した看護技術の提供を考え、実践する		
学習内容	1. カンファレンス 2. 状況設定による看護技術演習 3. コミュニケーション演習		
回数	講義内容	備考	
1・2	注射・採血シミュレーション		
3・4	注射・採血技術試験		
5・6	点滴演習		
7	洗髪演習		
8・9	洗髪技術試験		
10	プロセスレコード	講義・演習	
11	カンファレンス	講義	
12	カンファレンス	演習	
13	清拭・陰部洗浄・寝衣交換①	デモンストレーション	
14・15	清拭・陰部洗浄・寝衣交換②実技試験		
教科書	任和子 他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 第16版 医学書院 2016 竹尾恵子監修 向井尚人編集：看護技術プラクティス 第3版 学研メディカル 秀潤社 2015		
授業形態	講義 グループ学習		
評価方法	筆記試験 実技試験 出席状況 授業貢献度		